

平成30年度劇場・音楽堂等機能強化推進事業
(地域の中核劇場・音楽堂等活性化事業)

成果報告書

団 体 名	公益財団法人いたみ文化・スポーツ財団	
施 設 名	伊丹市立演劇ホール	
助成対象活動名	公演事業・人材養成事業・普及啓発事業	
内定額(総額)	12,673	(千円)
公 演 事 業	6,484	(千円)
人 材 養 成 事 業	3,181	(千円)
普 及 啓 発 事 業	3,008	(千円)

(2) 平成30年度実施事業一覧

【公演事業】					
番号	事業名	主な実施日程	概要 (演目、主な出演者、スタッフ等)	入場者・参加者数	
		主な実施会場		目標値	実績値
1	現代演劇 レトロスペクティブ コトリ会議	平成30年11月15日 ～18日	『ともだちがきた』『髪をかきあげる』 作：鈴木俊郎 演出：山本正典 出演：牛嶋千佳、要小飴 他	目標値	400人
		伊丹市立演劇ホール		実績値	486人
2	現代演劇 レトロスペクティブ baghdad café	平成30年12月22日 ～24日	『野獣降臨』 作：野田秀樹 演出：泉寛介 出演：一瀬尚代、辻りこ 他	目標値	350人
		伊丹市立演劇ホール		実績値	521人
3	東京デスロック＋ 第12言語演劇スタジオ	平成30年7月20日 ～22日	『가모매 칼메기』 脚本：ソン・ギウン 演出：多田 淳之介 出演：夏目慎也、ソ ン・ヨジン 他	目標値	320人
		伊丹市立演劇ホール		実績値	377人
4	KUDAN Project	平成30年12月7日 ～9日	『真夜中の弥次さん喜多さん』 脚本・演出：天野天街 出演：小熊ヒデジ、寺十吾	目標値	400人
		伊丹市立演劇ホール		実績値	390人
5	青森中央高校演劇部	平成30年8月22日	『もしイタ』 作・演出：畑澤聖悟 出演：青森県立青森中央高校演劇 部	目標値	360人
		伊丹市立演劇ホール		実績値	488人
				目標値	
				実績値	
				目標値	
				実績値	
				目標値	
				実績値	
				目標値	
				実績値	
				目標値	
				実績値	
平成30年度の目標値、実績値				目標値	1,830
				実績値	2,262

(2) 平成30年度実施事業一覧

【人材養成事業】					
番号	事業名	主な実施日程	概要 (演目、主な出演者、スタッフ等)	入場者・参加者数	
		主な実施会場		目標値	実績値
1	伊丹想流劇塾第2期	平成30年5月～ 31年3月	講師：岩崎正裕、サリngROCK、北村想 講座計15回 卒塾公演『憂歌2019』 演出：岩崎正裕、サリngROCK 他	目標値	340人・10人
		伊丹市立演劇ホール		実績値	268人・9人
2	伊丹想流劇塾 マスターコース第2期	平成30年5月～ 31年3月	講師：林慎一郎、高橋恵、北村想 講座計8回 リーディング公演『風のない八月』作：有野黒樹 演出：高橋恵	目標値	100人・8人
		伊丹市立演劇ホール		実績値	91人・9人
3	演劇ラボラトリー 空晴プロジェクト	平成30年5月～ 31年2月	講師：岡部尚子 他 講座計40回 公演『君をおくる君におくる』 作・演出：岡部尚子 出演：受講生 他	目標値	350人・16人
		伊丹市立演劇ホール		実績値	442人・16人
4	アウトリーチにおける ワークショップ研究会	平成30年11月～ 31年2月	特別講師：大月ヒロ子 アウトリーチ研修参加：岩崎正裕、小原延之、上田一軒 他	目標値	35人
		伊丹市立演劇ホール		実績値	58人
				目標値	
				実績値	
				目標値	
				実績値	
				目標値	
				実績値	
				目標値	
				実績値	
				目標値	
				実績値	
				目標値	
				実績値	
平成30年度の目標値、実績値				目標値	790人・69人
				実績値	801人・92人

(2) 平成30年度実施事業一覧

【普及啓発事業】					
番号	事業名	主な実施日程	概要 (演目、主な出演者、スタッフ等)	入場者・参加者数	
		主な実施会場		目標値	実績値
1	「地域とつくる舞台」シリーズ いたみ・まちなか劇場 「味わう舞台」	平成30年10月～11月	舞踊『待つ』、朗読『糸車』、 一人芝居『お父さんのバックドロップ』他 出演：ボヴェ太郎、林英世 他	目標値	130人
		伊丹市内飲食店		実績値	189人
2	「みんなの劇場」 こどもプログラム	平成30年8月11日、12日	『かむじゆうのぼうけん』 作・演出：まいやゆりこ 出演：芦谷康介、大熊ねこ 他	目標値	80人
		伊丹市立演劇ホール		実績値	221人
3	アイフェス!!2019 (AI・HALL 中学高校演劇 フェスティバル)	平成31年3月30、31日	市立伊丹高校、県立伊丹高校、県 立伊丹西高校 他5校 講評員：サリngROCK、高橋恵、土 橋淳志、中嶋悠紀子	目標値	1000人
		伊丹市立演劇ホール		実績値	1229人
4	こどものための 夏休みワークショップ	平成30年7月25日～ 29日	『みんなでつくる鬼ごっこダンス ～まてまてまてえ～』 対象：小学3年生～6年生 講師：林慎一郎、砂連尾理 他	目標値	25人
		伊丹市立演劇ホール		実績値	25人
5	中高生のための 夏休みワークショップ	平成30年7月～8月	「中学・高校ワークショップ」 講師：サリngROCK、亀尾佳宏 「高校戯曲」 講師：土橋敦志、中嶋悠紀子	目標値	80人
		伊丹市立演劇ホール		実績値	76人
6	土曜日の ワークショップ	平成30年4月～ 31年3月	『自分史をセリフにしてみよう』 他5講座 講師：小原延之、上田一軒 他	目標値	300人
		伊丹市立演劇ホール		実績値	329人
				目標値	
				実績値	
				目標値	
				実績値	
				目標値	
				実績値	
				目標値	
				実績値	
				目標値	
				実績値	
平成30年度の目標値、実績値				目標値	1,615
				実績値	2,069

【妥当性】

自己評価

社会的役割（ミッション）や地域の特性等に基づき、事業が適切に組み立てられ、当初の予定通りに事業が進められていたか。

伊丹市は電車で大阪まで約15分・神戸まで約30分の距離に位置し、市域には大阪国際空港があり、交通の利便性が高い地域である。JRと阪急の両「伊丹駅」を中心に文化施設や飲食店が数多く集まる市中心市街地に当館は立地。大阪・神戸の衛星都市に位置しながらも都市圏の劇場として認知され、市内のみならず関西圏を中心に多くの来場者を迎えている。また、市内には文化会館(1200席)、音楽ホール(500席)、演劇ホール(200席)と、大・中・小のホール機能を擁した文化施設がそれぞれ独立して設立され、各館ごとに事業分野が分かれていることで事業の専門性が担保されている。こうした特色を活かし、昭和63年の開館以来、30年近くにわたり市立の演劇ホールとして、現代演劇・現代舞踊に特化した事業を数多く展開してきた。蓄積された実績と経験をもとに、関西をはじめ国内外の劇団・カンパニーとともに時代に即した質の高い公演を企画・製作。特に近年、ファミリー層が増加傾向にある本市の特性を踏まえ、未就学児童・子育て層を対象とした企画を充実。かつ、中心市街地における地域活性化の取り組みが盛んになるなか、地域の飲食店と連携した公演を新たに企画。また、児童・生徒を対象とした演劇・ダンスのワークショップやアウトリーチ事業、舞台芸術の初心者から専門的な学びを求める人まで世代を問わずに参加できる多彩な講座を開催。地域の子どもから高齢者まで幅広い世代が身近に舞台芸術のある生活を享受でき、舞台芸術の力で地域コミュニティの再生と創造を目指し、活力ある地域社会の発展に寄与すべく、公演・人材養成・普及啓発の各事業を有機的に組み合わせて事業を実施した。

助成に値する文化的、社会的、経済的意義等が継続して認められるか。

関西における現代演劇・現代舞踊の拠点として、30年にわたり、公演・人材養成・普及啓発を総合的に実施してきた実績と、全国の劇団やカンパニー、劇場と培ってきた幅広いネットワークをもとに、子どもからシニアまで幅広い年齢層に対し、多彩な舞台作品を低廉な価格で鑑賞する機会を提供。かつ、舞台芸術をつくり・学び・参加し・体験する機会を充実させた。現代演劇・現代舞踊の専門性を堅持した企画を展開することで、来場者・参加者の満足度の向上に繋げ、舞台芸術に触れることで多様性を受け入れられる心豊かな地域づくりの一助に努めた。また、公演・講座を通じて、地域の人々とアーティストとの出会いの場を設定。劇場を中枢（ハブ）として様々な世代が集う機会を提供したことで、地域住民の社会参加を促し、人々の交流を推し進める契機となった。特に、子どもを対象とした文化芸術事業の充実を期待するニーズを踏まえ、公演、ワークショップ、フェスティバル、アウトリーチをきめ細かに展開。地域の子どもたちが舞台芸術に触れる機会の拡充を図った。地域の舞台芸術の振興と活性化に寄与していくため、専門的な知識と経験を持つ人材の養成、次世代の表現者の育成にも注力。舞台芸術の専門的な人材が事業に参画し、その力を地域に還元する流れをつくることで、現代演劇・ダンスのさらなる事業展開に努めた。こうした独創性に富んだ魅力的な公演や企画により、舞台芸術による伊丹の都市ブランドの構築と発信を推し進めた。事業を通じて、市内外からの来場者による市域での回遊性を高め、交流人口の増加を目指すことで地域の活性化に寄与。表現者・教育関係者・地域の商業者等との連携体制を築き、地域社会のにぎわいと活力あるまちづくりに努めた。

【有効性】

自己評価

目標を達成したか。

公演事業では、10代から70代以上の観客が来場し、地域の幅広い世代に対して舞台芸術の鑑賞の機会を創出。アンケート回答者のうち、30代以下の年代が約45%（うち10代・10代以下が約20%）であり、地域の若い世代に良質な舞台芸術に触れる機会を提供できた。日韓共同製作作品の上演、現代演劇の名作戯曲の新演出による上演等、独自性の強い企画内容で当館の取組みを市内外へ発信、都市ブランド構築の一端を担った。

人材養成事業では多種多様な自主講座を開講。きめ細やかな運営と質の高い内容により、受講者全員が満足と回答したほか、修了後も活動の継続を希望する声が多く、人材の輩出および地域の芸術活動の活性化に有効に機能した。二十代からシニアまで幅広い年齢層が約一年間という長期間にわたり講座に参加することで世代間の交流を促し、かつ修了公演の実施により新たな観客の創出に繋がった。あわせて、アウトリーチ事業を担う人材の養成とプログラムの研究を行い、舞台芸術の力を教育現場に活用する手法についての理解と普及を押し進めた。

普及啓発事業では、劇場に足を運ぶ機会が少ない層に対して「舞台芸術との出会い」を目的に実施。市域の飲食店と連携した事業では、地域住民が舞台芸術をより身近に感じ、まちへの誇りや愛着を育てる契機とし、かつ地域の経済・観光の活性化に寄与した。未就学児童対象の参加型公演や演劇・ダンスの初心者向けワークショップにより、幼児からシニア層までが劇場に集ったことで、劇場を核とした地域コミュニティの場として機能し、かつ市民同士の交流と異世代間の交流の双方に寄与した。児童・生徒を対象に〈小・中・高〉各世代ごとの事業を実施、舞台芸術への理解・関心を促し、その普及に努めることができた。

【効率性】

自己評価

アウトプットに対して、事業期間が適切で、当初の計画通りに進んだか。
アウトプットに対して、事業費が適切で、当初の計画通りに進んだか。

小劇場が次々と閉館される状況下にある関西で、当館のように今なお「現代演劇」「現代舞踊」に特化した公共ホールは非常に珍しいと言える。開館以来から続く事業の特性を活かし、専門性を追求すべく様々な公演や講座を企画。30年度においても、劇場・音楽堂等機能強化推進事業の助成のもと、質の高い多様な舞台作品を紹介する公演・鑑賞事業が行えた。また、ワークショップやアウトリーチ事業において、適正な人数の講師を派遣することができ、アーティストにとっても、舞台芸術の技能を活かした事業を積極的に推進することができた。

事業費について、外部団体からの資金を獲得できた事業に関しては、当初の予算より経費削減となったが、その他の事業においては、計画通り適切な事業費で執行できた。

事業期間について、年間スケジュールにおいて、各事業のターゲット層が重複しないよう、観客のニーズもにらみつつ、劇団・カンパニーと調整していることから、適切な期間で計画通り実施できた。ワークショップ・アウトリーチ事業においても、天候の影響による開講日の変更や講師からの日程変更以外、当初予定していた日程で実施。

人材養成事業において、6月の台風21号の影響で休講となり振替日にて開講したが、それ以外の事業については当初の予定通り実施できた。また、普及啓発事業では、講師に海外公演が入ったため開催日の振替を行った講座があったが、そのほかの講座・事業については当初の予定通り実施できた。人材養成事業・普及啓発事業どちらも開講スケジュールのみ変更し、回数について増減等はなかった。（変更申請書提出済み）

【創造性】

自己評価

地域の文化拠点としての機能を最大限に発揮する優れた事業であった（と認められる）か。

舞台芸術により親しんでもらう機会を提供し、地域の文化拠点として様々なきめ細かい事業を行っている。

平成20年度より岩崎正裕(劇団太陽族)がディレクターとして就任。以降、若手登用の企画「次世代応援企画break a leg」の立案、子ども向け演劇作品の製作、60年代以降に書かれた名作戯曲を関西で活躍する演劇人によって再検証する「現代演劇レトロスペクティブ」の実施、初心者を対象にした演劇実践講座「演劇ラボラトリー」の開講など、現役のアーティストが企画立案に加わり、事業全体の方向性を定めることで、個性的な事業を展開。

公演事業では、関西を拠点に活動する劇団を多数紹介。また、第一線で活躍する全国の表現者の作品を上演、舞台芸術および劇場へのさらなる興味・関心を促している。燐光群、青年団など、日本を代表する劇団が継続して関西公演を当館で行っており、人気劇団の先端的な作品に触れられる劇場としても存在価値を高めている。

平成30年度は、韓国最高峰の東亜演劇賞にて三冠を受賞し日韓合作のエポックとなった名作、東京デスロック+第12言語演劇スタジオ『가모메 칼메기』や、国内はもとより北京、マニラ、クアランブールなど各国で上演を重ね喝采を浴びてきた傑作、KUDAN Project『真夜中の弥次さん喜多さん』の約13年ぶりとなる関西での再演など、国内外で高く評価されている作品を上演。フレキシブルに舞台を設営出来る当館の機構を活かした多様な表現が繰り広げられ、地域の人々に良質な鑑賞体験を提供した。

さらに、「地域の劇場」として市民に寄り添う劇場を目指し、普段、劇場に足を運ぶ機会の少ない人々に対しても積極的にアプローチを続けている。地域の飲食店と連携して行った『味わう舞台』や、未就学児とその保護者を対象とした参加型演劇作品『かむじゅうのぼうけん』、市内の中高演劇部による演劇フェスティバル『アイフェス』など、多彩な事業を展開した。

【創造性】

自己評価

地域の実演芸術の振興など、地域の文化芸術の発展につながっていた（と認められる）か。

当館は、質の高い舞台芸術を上演する専門ホールとして市外からの来場者が多い傾向にあったが、平成24年度に伊丹市が行った「公共施設に関する市民アンケート」から市民の利用度や認知度が低いことが判明し、以来それらを向上するための取組を継続している。

その一つとして、伊丹市内の中学・高校の演劇部による一年の集大成を発表する演劇フェスティバル（『アイフェス』）を継続して開催。観客には生徒の家族・友人らが多数来館するため、市内の来場者率が高い。加えて、平成30年度は第58回全国高等学校演劇大会（平成24年）で最優秀賞を受賞した青森中央高校演劇部『もしイタ』を招聘し、伊丹市内の演劇部員が多数観劇。あわせて作・演出の畑澤聖悟による演技ワークショップにも参加し、作品創作の一助とした。

ワンコインで受講可能な『土曜日のワークショップ』は市民に舞台芸術を身近に感じてもらう体験講座として開講。平成30年度は、『自分史をセリフにしてみよう』を新たにラインナップ。自身の人生を振り返り短編戯曲に起こすという取り組みは受講者の満足度も高く、後に有志が独自にサークルを作り、定期的に集まりながら執筆を継続するなど新たなコミュニティ形成のきっかけともなった。

当館の周辺はマンションの新設ラッシュでファミリー層が多く住んでいる状況を鑑み、子どもの観劇体験を促す「みんなの劇場」こどもプログラムを開催。平成30年度の『かむじゆうのぼうけん』は市内の来場者も多く「継続してほしい」「また来たい」との声もたくさん聞かれ、地域のニーズを満たしたと言える。

普及啓発事業「いたみ・まちなか劇場『味わう舞台』」は市内有数の飲食店を会場とし、店自慢の料理と30～40分の短い舞台作品をセットで楽しむという内容。普段、劇場に足を運ぶことが少ない市民にも好評を得ることができ、地域における舞台鑑賞の裾野を広げることができた。

【持続性】

自己評価

事業を通じて組織活動が持続的に発展した（と認められる）か。

当財団は、平成26年度から平成30年度まで、伊丹市の指定管理者として、市内10の文化芸術・スポーツ施設の管理・運営を任されている。市からの評価も高く、平成31年度以降についても、3年間（令和3年まで）継続的な事業運営が可能である。

現在、財団全体で臨時職員を含めて約240人在籍している。正規職と非正規職の雇用の割合は正規職員50%に対し、非正規職が50%であり、将来的には正規職員の割合を増やす計画をたてている。また、当財団の経営計画に基づき、労働契約法改正を踏まえ、入社5年目の嘱託職員を有期雇用から無期雇用へと転換。長期的に制作業務に携われる環境の整備を行ったことで、より一層継続して専門性を発揮してもらえることが可能となった。また、当館では、舞台芸術を専攻する学生のインターンシップを受け入れており、これを体験した学生が、先般はじめて嘱託職員として採用された。今後も舞台芸術に携わる若手の人材確保と育成に向けた取り組みを積極的に行っていく。

財団全体において、財団内部の研修だけでなく、他地域で開催する研修やシンポジウムへの参加を推奨している。特に、ホール職員に対しては、（一財）地域創造のステージラボなど公共ホール事業に特化した研修に派遣し、職員の人脈づくりや学びの場として活用した。今後こういった研修への参加を推奨し、職員の専門性を高め、スキル向上の取り組みに力をいれ、その育成を図る。

劇場間のネットワーク形成については、全国から様々な劇団・カンパニーを招聘し、また他地域の公共劇場と連携して共同制作を実施することで、地域内外の舞台芸術家・団体・劇場との幅広くかつ強固なネットワークと連携・協力関係を確立した。